

山中だより

山中 してもらう
キャッチ させられる人から
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第12号

発行 令和元年9月24日 校長 交久瀬 善浩

◆◆強い心、それは逆境の中で育つ！！◆◆

始業式で上杉鷹山の話をしました。そして、17日（火）の生徒朝礼で自発性（自発的）の大切さについて話をしました。時間が経っているので忘れている人もいかもしれませんが、大切なことだと思うので、その内容について、整理と補足をここでしておこうと思います。まずは始業式の話から。

上杉鷹山（ようざん）の特に有名な名言、

「為せば成る 為さねば成らぬ 何事も 成らぬは人の 為さぬなりけり」 を取り上げ、さらにイチローの言葉の中から、

「準備というのは、言い訳の材料となり得るものを排除していく、

そのために考え得るすべてのことをこなしていく」を加えて話しました。



上杉鷹山本人については時間の都合で話をしませんでしたので、一度自分で詳しく調べてみてください。みなさんがこれから生きていく上で、大変参考になるはずですよ。では、その鷹山の有名な言葉について補足しておきたいと思います。

それは、鷹山の言葉の後半の句「成らぬは人の 為さぬなりけり」のところについてです。意味は「できないのは、人がしないからだ」ということですが、これは最初の句の「為せば成る」を補っている言葉なのです。

つまり鷹山は、「どんなことでも、しようと思えばできる」ということが言いたいのです。

少し日頃を思い返してください。あなた方は、「そんなんでできるわけないやん」って言ったりしませんか。「努力しても報われないことはある。」「頑張ってもできないことはある。」など思ったり聞いたことはありませんか。それを鷹山は否定しているのです。人が「本気でやろうと思えば、どんなことでもできますよ」と言いたいのです。

実は偉人と呼ばれるような人は、かなりの人が同じようなことを言っています。みなさんが知っている人から少しあげると、

「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない」 王 貞治

「努力すれば報われる？ そうじゃないだろ。報われるまで努力するんだ」 リオネル・メッシ

「私は失敗したことがない。ただ1万通りの、うまく行かない方法を見つただけだ」 トーマス・エジソン

なかなか厳しいですね。これらは自分でできる極限まで努力し、途中で決して諦めない不屈の精神力を有する人が、最後に到達した境地で、それまでの努力を振り返って言葉にしているのだと思います。普通の人にはなかなかできることではないと思ってしまいます。

が、しかし、これら偉人と言われる人も、最初から偉人であったわけじゃなくて、子どものころは普通の子供として生活していたはずなのです。最初から偉人として周りの人から育てられたわけではないのです。



言い換えれば、みなさんも「みなさん自身が求める夢を追って、決して諦めない不屈の精神力で、どんなに悪口を言われても叩かれても挫けず何回も起き上がる強い心で、日々努力を続ければ、それがどんなに不可能に近い夢であったとしても達成できるということなのです。それをやり抜いた人が、結果

として、現世で注目され、そして後世に偉人として語り継がれているのです。

つまり、人が生きていく上で、その人生を豊かにするにしても、何かを達成するにしても、何かしらプラスの結果を築き上げるために一番必要なものは、強い心だということです。そして、その強い心の根元には、必ず自発力（主体性・自主性）が存在するということです。自発力のないところに強い心は存在しません。17日の朝礼で話したのは、この自発力（主体性・自発性）についてでした。

「何事でも自分で調べ、どうするのか考え、決断し、実行する」これをを日頃から意識して行動していると、自然と自分のなかに自発力（主体性・自主性）が育ってきます。それを青年期までに自分の中に育てていくと、付随して自然と強い心も育ってきます。何故なら、自分で考えて行動すれば、必ず反対する人や困難が発生し、それに自分の力で立ち向かっていかねばならなくなるからです。その立ち向かうという姿勢のなかで強い心が育つからです。



自分で考えず、人に頼り、指示してもらい、準備も何もかもしてもらい、困難は親や他人が取除き、自分は言われたことだけをし、困難や逆風にこれっぽっちもさらされないで育った人は、自発力を育てることができないし、当然、心の強さも育てられないので、成人してからの人生が、マイナス方向の結果につながる可能性が高いということです。私は、37年間の教師生活の中でそうなった人を何人も見てきました。

9月6日に3年生がこの4月に受験した全国学力学習状況調査の分析結果を1年生から3年生まで全員に配布しましたが、このとき学習状況調査（質問紙）の分析をしている中で、質問事項の「自分で考える」「将来の夢を持つ」「やり遂げてうれしかった」「失敗を恐れない」「みんなと話し合う」「協力する」「困っている人がいたら助ける」「地域社会をよくするために考える」等々の、自発性がなければ低くなってしまう質問項目において、山田中学校の3年生（おそらく1年生も2年生も同じだと思います）は、全国の平均よりことごとく高い結果が出ていました。10ポイント以上高かった項目もいくつかありました。この結果について、私は本当にうれしかったです。何よりも大切なことだと思っています。



17日の生徒朝礼でも話しましたが、自発的・主体的に何事にも取り組むようになると、すべてのことが自分を基本として考えられるようになるので、すべてのことに面白く取り組めるようになります。少なくとも「やらされている」「仕方なくやっている」「我慢してやっている」という気持ちはなくなります。そして同時に、他人に対する反発や親に対する反発もなくなります。

一人一人の力は多寡が知れています。自分で考えて自分で行動するようになると、自分ひとりで出来ることなどほとんどないことに気づきます。そうやって初めて他人の大切さがわかるのです。他人と話をし、他人を理解許容し、他人への協力、他人への感謝の気持ちが、如何に大切なものであるかを学ぶのです。人としての本当の優しさもそのなかで育ってくるのです。



「強い心」とは、他人に勝ったり、わがままを通したりするための心ではなく、自分の甘えた心に打ち勝ち、他人に対する感謝と優しい心をもって、物事をやり抜いていく心の強さです。

だからこれから青年期に突入していくみなさんは、自らが心して、「自分で考え、決断し、自ら行動する姿勢」をもち、自発力を高め、あえて自らを逆境におくことによって、本当の意味での強い心を育て、自らの人生を素晴らしいものに仕上げたいと思っています。この点において、学習状況調査の結果から山中生は全国平均を一歩抜きん出ています。山中生なら必ずできる！！頑張れ！！

最後にもう一つ。

風が一番高く上がるのは、風に向かっている時である。風に流されている時ではない。チャーチル